

高次脳機能障害がある人の 一般就労への取り組みについて

高次脳機能障害は、脳血管疾患や交通事故等で脳を損傷することで、脳機能に後遺症が残った場合、「記憶障害」、「注意障害」、「遂行機能障害」等の認知障害が現れます。当事者や家族は治療やリハビリテーションを経て在宅での生活が安定してくると、次のステップとして職場復帰や就労への準備を考え始めます。そこで、今回は支援に携わる方を対象に「高次脳機能障害がある人の一般就労への取り組みについて」をテーマに、就労生活の基盤づくりなどの方法について、理解していただくための研修会を開催いたします。



令和6年 **1月30日(火)**
13:30～15:30(受付開始13:00)

参加無料
定員
200名

Web
(Zoom)
開催

◆講師 稲葉 健太郎 先生

名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長

◆プロフィール

- 1996年～ 横浜市総合保健医療センターにおいて、生活訓練施設やデイケア等で、精神障害者への社会復帰支援(生活・就労など)に従事
- 2002年～ 名古屋市総合リハビリテーションセンターにおいて、高次脳機能障害者への生活支援と就労支援に従事。
ご本人の能力や適性、生活にあった「就労支援」を目指して活動中。



◆書籍

- ・高次脳機能障害のある人に“伝わる説明”便利帖／中央法規出版(編著・共著)
- ・高次脳機能障害 支援の道しるべ～就労・社会生活編～／メディカ出版(編著・共著)
- ・認知機能・職業能力・対人関係スキル訓練指導マニュアル／メディカ出版(編著・共著)

◆対象 行政、医療、福祉、事業所等で高次脳機能障害支援に携わる方

◆申込方法 申込フォームより入力

(インターネット) <https://logoform.jp/form/T8mB/444728>

(LGWAN) <https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/T8mB/444728>



◆申込締切 令和6年1月23日(火) 17:00まで

